

●(株)こんの

## 鈴木健也氏が第2回《私は自分の仕事が好き大賞》でグランプリ受賞



受賞者・鈴木氏を囲み、こんの経営陣・幹部

11月3日、東京・千代田区の日本教育会館 一ツ橋ホールで開催された《第2回／私は自分の仕事が好き大賞(NPO法人ハッピーマイレージ準備室主催)》に、(株)こんの(紺野道昭社長、福島県福島市)坂戸鶴ヶ島営業所の鈴木健也氏が出場し、大手自動車メーカーの優秀なセールスマンから生命保険のライフプランナーに転職した人、〈トラックドライバー甲子園アワード〉を主催する運送会社の経営者、エステティックサロン店長など並み居る優れたプレゼンターを抑え、見事グランプリに輝いた。

同大会は《「自分には価値がある、そして誰もが価値ある存在である」それを具体的な行動と体験によって共有する、それが私たちの使命です》を理念に、あらゆるサービス業〈お客様の存在がある仕事全て〉で活躍するプレゼンターが、「自分の仕事の素晴らしさ」、「その仕事をなぜ好きになったのか?」、「その仕事を、どんな価値だと感じているのか?」を10分間プレゼンテーションして、会場審査員の投票により日本一を決定、サービス業で働いている人が夢や誇りを持って、最高に輝ける場所を提供する大会で、2013年11月3日に第1回が開催された。

今回大賞を受賞した鈴木健也氏は、漫画家を目

指して21歳の時にプロ漫画家のアシスタントになるも挫折。30歳まで一時コンビニでアルバイト生活を送るが、大半の時間は引き籠り生活を経て、30歳で自分の考える条件①「時給1,000円以上」、②「自宅から近く、通勤が楽」③「休みを自由に選べる」に合っていたという単純な理由と動機で、こんのに入社。仕事に失敗した時に先輩や上司に叱責されるどころか、「誰もがミスをする。新入社員のミスはわれわれに責任がある」などと庇われ、徐々に仕事にも慣れて、絵の才能を認められて仕事に生かした体験談などを画像も交えて語り、仲間・顧客との出会い・経験からやがて前向きな思考が変わって、現在は自ら積極的に仕事に取り組んで、他人を喜ばせる「他喜力」の向上と発揮に邁進している有様を、奇を衒わずに、性格そのままに自然と人を和ませ、笑わせるユーモアを交え、スピーチ当初の自信のない話しぶりから、最後には「自分は今の仕事が好き、こんのが大好き」と力強く訴えるプレゼンに、会場内からその日最大の感動の拍手が送られた。

そして、投票の結果、見事グランプリに輝き、主催者の要請に応じて登壇した同社紺野社長、敏昭専務、直属の上司の山口英人所長らと抱き合っ、受賞の喜びに浸った。